



地域防災の中核として

松田町消防団第5分団 分団長 辻 健一さん(弥勒寺在住)

消防団は、自分たちのまちを自分たちの手で守るという理念のもと、火災が起きた際の消火活動に限らず、その地域に暮らす住民の生命、身体、財産を守るために、幅広く、色々な側面から活動しております。今回、そんな消防団の活動をお話させていただければと思います。

まず、私たちが暮らすこの松田町には、現在1分団から7分団までの7つの分団がありますが、それぞれの分団がその地域に根差して活動をして

おります。その中で、令和2年に萱沼から湯の沢区域を担当する8分団と合併した為、我々5分団の担当地域は萱沼から宮地、弥勒寺とかなりの広範囲に渡ります。そのため団員数も多く、現在18名が在籍しております。活動内容としては、月2回の機械点検（これは、各地域の消火設備が正常に機能しているか、また、装備している設備機器の動作確認や不足部品のチェック等を行っております。）をはじめ3月、11月の火災予防運動広報、5月のポンプ性能検査、12月の年末警戒と年間を通し、様々な活動しております。さらに、ご存じの通り、年始の出初式での消防操法（消火活動時の基本的な操作の流れをお披露目させていただく）は日頃の訓練の成



第5分団機械点検時詰所にて

果を住民の皆様にご覧いただく機会となっております。他にも、団員個々の技能向上を目指し、消防学校での研修や救命講習にも参加しております。このような様々な活動を通して、地域住民の皆様との交流を図ることにより、皆様の防災活動への意識の向上に寄与させていただき、有事、平時に関わらず近隣の方と協力して地域の安全と安心を守っていきたく思っております。

身内びいきになりますが、5分団の団員は全員防災意識が高く、いざ有事の際には連携して素早い対応をみせてくれるとても信頼できる仲間たちです。昨今のコロナ禍の中、このような活動も自粛せざるを得ない状況ですが、火災をはじめ、自然災害である台風や豪雨、土砂災害は、そんなことなどお構いなしに発生します。いざ災害が起こった時に被害を最小限に抑

え、住民の生命、身体、財産を守るため、限られた機会と時間の中で、個々の分団の能力の向上や分団員の連携、地域住民の皆様との信頼関係の構築に、我々分団員一同、益々誠心誠意取り組んでいく所存ですので、地域住民の皆様には、消防活動にご理解いただきまして、ご支援、ご協力いただければ幸いです。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

第4回定例会は12月6日(火)開会 新型コロナウイルス対策のため 傍聴は10席となっております。発熱等症状がおありの方はご遠慮ください。

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報広聴常任委員会
齋藤	飯田	中野	田代	内田	寺嶋	
永	一	博	実	晃	正	

一般質問の録画配信を行っています。配信ページからぜひご視聴ください。(飯田)

9月定例会は9月6日から開催されました。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、今回も傍聴は10人までに制限させていただきました。決算議会とも呼ばれますように9月議会は令和3年度の予算に対して実際にどのような使われ方をしたのか審査をし、適正かつ妥当に使われたのかを認定するものです。審査特別委員会の中で出されたいろいろな意見が、これからの予算編成に生かされればと考えます。

